

就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議幹事会（令和8年度第2回）

議事要旨

開催日時：2026（令和8）年5月27日（水）15:00～16:00

場 所：中央合同庁舎第8号館409会議室

出席者：議長	成松 英範	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	三木 文平	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	春山 浩康	文部科学省高等教育局学生支援課長
同	今野 憲太郎	厚生労働省人材開発統括官付参事官（若年者・キャリア形成支援担当参事官室長）
同	今里 和之	経済産業省経済産業政策局産業人材課長
関係者	伊藤 公平	就職問題懇談会座長
同	新田 秀司	一般社団法人日本経済団体連合会労働政策本部長
同	酒向 里枝	一般社団法人日本経済団体連合会教育・自然保護本部長
同	進藤 創	日本商工会議所産業政策第二部長

【議題】

今後の就職・採用活動の在り方について

【議事概要】

- 学生のキャリア形成支援に係る取組は、実施企業が大学等と連携して行うことが望ましく、また、大学や専門高等教育機関が主体的に実施するものについては実施時期について限定しなくてもよいのではないか。
- 日程ルールを見直すとしても、連絡会議等で引き続きフォローアップを行う必要がある。どのようなフォローアップを行うか、関係者間で調整すべき。
- 学生や企業の予見可能性の観点からも、毎年、政府が企業に要請を行うという手法も見直したほうが良い。
- 見直しに際しては、エントリーや登録、事前スクリーニングといった就職・採用活動のスタートの定義や時期を議論したほうが良いのではないか。採用選考は日時が指定されるため、学生の学事日程とぶつかる可能性がある。一方、エントリーシートの作成などは学生が自分の裁量が効く時間の中で行うことができる行為である。現在は、広報活動の一環として3月1日としているが、これは就職情報会社等が企業に学生情報を提供するタイミングにもなっている。別の日程の期限をどこまで設ける必要があるかも含めて議

論したほうがよい。